

指定管理者総合評価シート

1 施設の概要

施設名	豊岡市立豊岡総合スポーツセンター (野球場)	所在地	豊岡市戸牧359番地
設置目的	市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に寄与するとともに、地域の体育及びスポーツの普及奨励を図る		
規模	敷地面積：24,161㎡ 競技場面積：12,783㎡ 両翼：90m、中堅：120m 観覧席メインスタンド：900人、1、3塁スタンド：800人、外野スタンド：1,300人、放送設備、夜間照明施設：一式 駐車場 普通車300台（スポーツセンター共用）	設置年月日	1968年10月

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	豊岡体育協会	指定期間	2017年4月1日から2022年3月31日		
指定管理業務の内容	①体育施設設管条例第3条第1項各号に規定する事業に関する業務 ②施設、設備等の維持及び管理運営に関する業務 ③利用料金の徴収等に関する業務 ④施設運営に係る専門的な企画、提案及び助言 ⑤大会及び合宿等の誘致に関する業務 ⑥その他市が定める業務	指定管理料（千円）	2017年	6,941	千円
			2018年	6,441	千円
			2019年	6,501	千円
			2020年	6,560	千円
			2021年	6,560	千円

3 総合評価

施設所管課の評価（一次評価）	管理運営方法の見直し		
	指定期間中の導入効果及び課題	①ホームページを立ち上げ、予約状況を確認できるようになり、また利用される団体には空き状況を連絡し利用を促すことで、利用者への利便性の向上と収入アップを図っている。 ②利用者ニーズには、即時対応が可能なものは対応ができています。 ③修繕については、リスク分担を効果的に活用し市の負担軽減を図っている。 【課題】 ①このとりスタジアム観客席が老朽化しており、改修が必要な時期に来ている。 ②現在は、貸館が中心となっていることから、NOMOベースボールクラブ等とも連携し、新たな教室の開催や新規利用者の拡大に向けた取り組みが必要である。	
	今後の管理形態	■ 指定管理者制度 □ 直営	
		理由	①陸上競技場・テニスコートとの一体管理により、人件費等の管理運営経費については、直営よりも指定管理者制度を継続する方が、経費面で有利であると考えられる。 ②事業の実施内容については、施設の軽微な修繕及び点検等の維持管理が適切に行われており、経費削減に努めている。 上記の理由により、今後も引き続き指定管理者制度を継続する。
	指定管理者制度を継続する場合		
	選定方法	■ 公募 □ 非公募	
	非公募の場合、その理由		
	今後の改善点		
	①全天候対応とはいうものの、雨天時の利用は少ない。また、年によって差異があるため、安定的な運営が難しいが利用促進活動の徹底及びサービス向上の推進により、利用者の増加を図る。 ②利用調査の分析等により、利用者ニーズの把握及び利用率向上に向けた具体的な取り組みが必要		
	制度所管部等の評価（二次評価）	指定管理者制度導入の効果が認められるため、引き続き同制度による管理運営が適当であると判断する。選定方法については、公募により指定管理者の募集を行う。	

指定管理者総合評価シート

1 施設の概要

施設名	豊岡市立豊岡総合スポーツセンター (陸上競技場・テニスコート)	所在地	豊岡市戸牧359番地
設置目的	市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に寄与するとともに、地域の体育及びスポーツの普及奨励を図る		
規模	- 陸上競技場：敷地面積 35,472㎡ 1周400m・8コース 屋外トイレ 1箇所 管理棟（鉄骨コンクリート2階建）延床面積164.9㎡ - テニスコート：敷地面積 6,405㎡ 4面（砂入人工芝） 夜間照明施設 一式（17基） 屋外トイレ 1箇所 - 駐車場：普通車約300台（スポーツセンター共用）	設置年月日	1968年10月

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	豊岡体育協会	指定期間	2017. 4. 1～2022. 3. 31			
指定管理業務の内容	①体育施設設管条例第3条第1項各号に規定する事業に関する業務 ②施設、設備等の維持及び管理運営に関する業務 ③利用料金の徴収等に関する業務 ④施設運営に係る専門的な企画、提案及び助言 ⑤大会及び合宿等の誘致に関する業務 ⑥その他市が定める業務		指定管理料（千円）	2017	5,679 千円	
				2018	5,679 千円	
				2019	5,732 千円	
				2020	5,784 千円	
				2021	5,784 千円	

3 総合評価

施設所管課の評価（一次評価）	管理運営方法の見直し	
	指定期間中の導入効果及び課題	①ホームページを立ち上げ、予約状況を確認できるようになり、また利用される団体には空き状況を連絡し利用を促すことで、利用者への利便性の向上と収入アップを図っている。 ②利用者ニーズには、即時対応が可能なものは対応ができています。 ③修繕については、陸上競技のルール改正にも一部対応するなど、リスク分担を効果的に活用し市の負担軽減を図っている。 【課題】 ①陸上競技場観客席が老朽化しており、大規模改修が必要な時期に来ている。 ②現在は、貸館が中心となっていることから、陸上競技協会やテニス協会とも連携し、新たな教室の開催や新規利用者の拡大に向けた取組みが必要である。
	今後の管理形態	☒ 指定管理者制度 ☐ 直営
	理由	①このとりスタジアムとの一体管理により、人件費等の管理運営経費については、直営に戻すよりも指定管理者制度を継続する方が、経費面で有利であると考えられる。 ②事業の実施内容については、施設の軽微な修繕及び点検等の維持管理が適切に行われており、経費削減に努めている。 上記の理由により、今後も引き続き指定管理者制度を継続する。
	指定管理者制度を継続する場合	
	選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募
	非公募の場合、その理由	
	今後の改善点	
①全天候対応とはいうものの、雨天時の利用は少ない。また、年によって差異があるため、安定的な運営が難しいが利用促進活動の徹底及びサービス向上の推進により、利用者の増加を図る。 ②利用調査の分析等により、利用者ニーズの把握及び利用率向上に向けた具体的な取組が必要		
制度所管部等の評価	指定管理者制度導入の効果が認められるため、引き続き同制度による管理運営が適当であると判断する。選定方法については、公募により指定管理者の募集を行う。	